

平成27年度知床五湖シーズンオフの検討方針・スケジュール

利用適正化計画では、利用調整の効果についてモニタリングを実施し、3年ごとにモニタリングデータの精査を行い、その結果を踏まえ、協議会にて必要に応じて計画の見直しを検討するとしている（知床五湖利用適正化計画 4.(4)「モニタリングデータの評価」の項より）。

今年度は知床五湖に利用調整地区を導入して5年目、利用適正化計画を改定（第2期）して2年目である。この間、ヒグマ活動期においては、当日受付の開始、利用人数の増枠、小ループの運用開始など主に利用機会の増加という方向で運用が改善されてきた。植生保護期においては、平成23年度から植生保護期（春）が追加された以外、制度的な改定はほとんど行われていない。

全体として、利用者数は堅調に推移しており、ヒグマ等の安全対策は前進したと考えられる。また、施設整備も一巡し、園地としてのリニューアルもほぼ完了した。一方で外国人利用者の増加や団体利用の減少など、利用者の動態は変化している。また、5年間で2度のヒグマの大量出没が発生しており、利用機会の確保と安全対策は知床五湖のみならず、地域全体の重要課題となりつつある。

制度の今後のあり方については、地域の理解と合意を確認しながら継続的に点検していくことが重要である。ここでは、5年間の制度運用の結果をモニタリングデータからとりまとめ、その成果と課題を側面ごとに分析・評価することで、平成28年にかけて今後の運用改善を検討する材料とする。

評価の結果、利用適正化計画の見直しが必要ということになれば、平成29年度シーズンに改定実験等の見直し作業を行い、モニタリング結果の速報を以て改定を行う。

なお、今年度2回目の審査部会（2月1日）では、特にヒグマ活動期について6つの面から議論・評価を行っている。

モニタリング実施項目と実施

モニタリング項目	調査対象	調査方法	H22	H23	H24	H25	H26	H27	備考
1 歩道浸食状況		植生調査、定点撮影	●	●	●	●	●	●	H24以降は定点撮影
2 ヒグマ遭遇状況	ツアー遭遇状況	アンケート・登録引率者CSシート	●	●	●	●	●	●	
	遊歩道開閉状況	記録	●	●	●	●	●	●	
3	地上遊歩道、高架木道利用者数	利用者カウンター・認定者数	●	●	●	●	●	●	
4 利用状況	駐車台数	記録	●	●	●	●	●	●	
5	ツアー実施状況	記録	●	●	●	●	●	●	
6 渋滞状況		インターバルカメラ		●	●			●	H27は駐車場拡張工事の効果検証
8	利用調整地区制度、登録引率者	ネットアンケート		●	●	●	●	●	
9	高架木道－ヒグマ活動期	アンケート調査	●	●	●				
10 利用者意識	高架木道－植生保護期	アンケート調査	●	●	●				
11	地上遊歩道－ヒグマ活動期	アンケート調査	●		●	●	●		
12	地上遊歩道－植生保護期	アンケート調査	●	●	●				

五湖地区における利用環境の推移

	地上遊歩道の状況	高架木道の状況	利用拠点
平成18年 (2006年) 以前	<p>H8年頃：観光客によるヒグマ目撃頻発。遊歩道の閉鎖やヒグマの追い払いにより対応。</p> <p>H16年：親子グマが至近距離で利用者を威嚇する事例が発生。1湖展望地までの遊歩道を完全に囲む閉鎖型の電気柵を設置。</p> <p>H17年：6月中旬から8月中旬までの時期、2湖南端から駐車場入り口までの500m区間に開放型の電気柵を設置。</p>	<p>H9年：斜里町が駐車場隣接地に延長140mの木道を初めて設置。</p> <p>H18年：環境省が高架木道を整備。第1展望台まで供用開始。延長210m。</p>	五湖レストハウス
平成19年 (2007年)	自由利用を原則としながら、遊歩道の閉鎖とヒグマの追い払い、電気柵設置の対策を継続。(H22年度まで)	斜里町整備の木道と環境省整備の高架木道の併用。	
平成20年 (2008年)		高架木道が延長。第2展望台までの供用を開始。総延長510m。 斜里町整備の木道は廃止。	
平成21年 (2009年)			
平成22年 (2010年)	H22年度のみ6/19～7/19の期間(31日間)、閉鎖区間(3-5湖)で知床五湖利用コントロール導入実験が実施される。	高架木道が完成。全線の供用を開始。総延長800m。 斜里町整備の木道は撤去。	五湖レストハウスを撤去。 仮設レストハウスを設置。 仮設フィールドハウスを設置(実験期間のみ)。
平成23年 (2011年)	立入認定の義務化と登録引率者の同行を柱とする利用調整地区制度が開始。 電気柵は駐車場の周りのみ設置。 1湖畔沿いの遊歩道が廃止。	高架木道と地上遊歩道が接続。 平成23年8月1日より接続部分のゲートおよび接続ルートの供用が開始。	五湖フィールドハウスおよびパークサービスセンターが新設
平成24年 (2012年)	利用調整地区制度開始から2年目。 開園からヒグマ活動期に入るまでの期間が植生保護期となる。 地上遊歩道から高架木道へ上がるルートが基本となる。 駐車場の周囲のみ電気柵設置。		
平成25年 (2013年)	利用調整地区制度開始から3年目。 平成24年から特に変化なし。		
平成26年 (2014年)	利用調整地区制度開始から4年目。 駐車場拡張工事のため10月13日で利用終了。自由利用期なし。	駐車場拡張工事のため10月13日で利用終了。	
平成27年 (2015年)	利用調整地区制度開始から5年目。 変化なし。	変化なし	拡張工事により、駐車場の収容能力が向上

平成28年度以降の知床五湖検討方針・スケジュール(案)

